

## 「NW-A2」ネットワーク活用方法

### 基本接続

NE-A2 のネットワークは、バイワイヤリング接続とスタンダード接続がモジュール切り替えで可能となる設計となっています。

**スタンダードでの接続は**、「IN+TW」「IN - TW」にパワーアンプからの出力を接続します。

本体ジャンパー(左下)は、「STAND/BIWIRE」のモジュールをともに STAND にします。

**バイワイヤリングでの接続は**、「IN+TW」「IN - TW」にツイーター受け持ちのパワーアンプからの出力を接続します。「IN+WF」「IN - WF」にウーファー受け持ちのパワーアンプからの出力を接続します。

本体ジャンパー(左下)は、「STAND/BIWIRE」のモジュールをともに BIWIRE にします。

**ウーファースの接続は**、「OUT+WF」「OUT - WF」におおの接続します。

**ツイーターの接続は**、「OUT+TW」「OUT - TW」におおの接続します。

NE-A2 の内部基盤には、下記の調整用の切り替えスイッチがあります。

### ツイータークロス周波数調整 SW (右上)

ツイーターのローカットフィルターは 6dB のスロープで、下図モジュール切り替えでカットポイントが可変します。

	HP-1	HP-2	周波数ポイント
SW 選択	ON	OFF	13 KHz
SW 選択	OFF	ON	10 KHz
SW 選択	ON	ON	7.6 KHz
SW 選択	OFF	OFF	音でない

### ツイーターアッテネーション SW (右下)

ツイーターのレベルを調整します。+2dB/0dB/-2dB の調整が可能です。(出荷時：0dB)

注意：0dB とは、ウーファーとのレベルが軸上で合うということです。

### 活用術

**初期接続**・スタート接続は、全て正相で接続してください。ポイント例：取り付け最初の確認は、位相チェッカー等でミス接続がないことを確認しましょう。

**接続の確認**・上記スタンダード接続時において、ジャンパーモジュール「STAND/BIWIRE」を抜くとツイーターのみ鳴ります。又ジャンパーモジュール「HP - 1」「HP - 2」共に OFF で、ウーファーのみ鳴ります。

**ツイーターのクロス調整**・ツイーターのポジションによりチューニングを行なってください。これが最も良いということは無く、取り付け環境で最も適正なポイントを探しましょう。

**位相調整**・波長の長いウーファー側から決定していきます。サブウーファーに対しウーファーを合わせます、その後ツイーターを追加し決定します。この時必ず左右のスピーカーで極性を変えないようにします、左右は必ず同じ動きで正相か逆相かの選択を各ユニット間で調整します。

**ツイーターのアッテネーション**・ウーファーのレベルに対し最適なツイーターレベルを調整します。ポイント例：ピアノやギターの音階が分かるように調整します。0dB から調整してください。